

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／ 特殊型（ブル・ベア型）
信託期間	2022年4月21日まで（設定日：2020年4月14日）
運用方針	日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+™ 指数（米ドルベース）の値動きのおおむね 3倍程度逆となることをめざして運用を行 います。
主要運用対象	特定のユーロ円債（米国次世代テクノロジー 関連銘柄・インバース型3倍レバレッジ連 動債）を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・株式への投資割合には制限を設けません。・新株引受権証券及び新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。・投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・同一銘柄の転換社債及び転換社債型新株予約券付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（年1回毎年4月21日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針により、分配を行います。 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。また、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

運用報告書（全体版）

第1期

（決算日：2021年4月21日）

SBI米国株（NYSE FANG+） トリプル・ベア

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI 米国株（NYSE FANG+）トリプル・ベア」は、2021年4月21日に第1期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

 SBI Asset Management

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		期中 騰落率		
(設定日) 2020年4月14日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 1
1期(2021年4月21日)	609	0	△ 93.9	21,324	113.2	98.2	123

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 参考指数は、NYSE FANG+指数™(米ドルベース)をもとに、当ファンド設定日を10,000としてSBIアセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

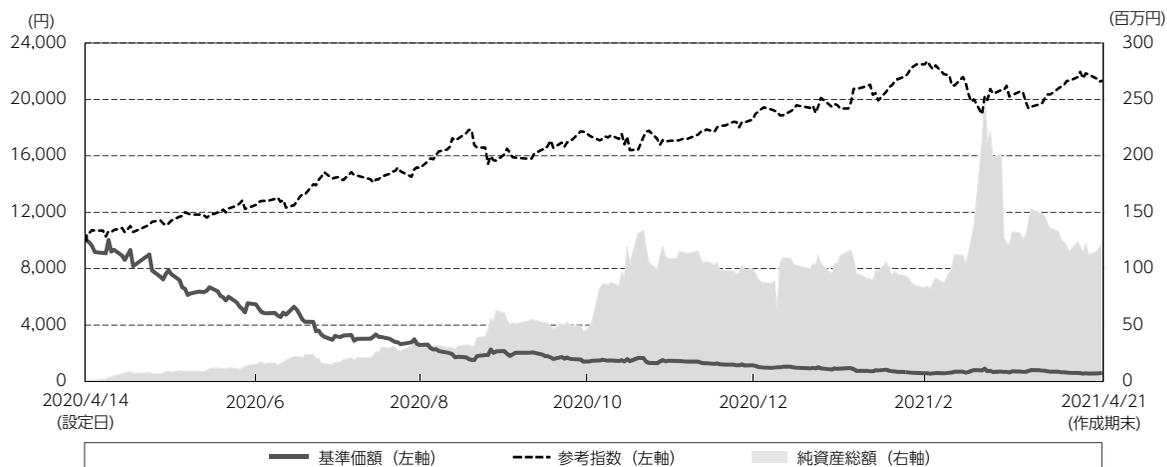
年月日	基準価額		参考指数		債券組入比率
		騰落率		騰落率	
(設定日) 2020年4月14日	円 10,000	% —	10,000	% —	—
4月末	9,328	△ 6.7	11,032	10.3	87.4
5月末	6,681	△ 33.2	11,782	17.8	105.7
6月末	5,086	△ 49.1	12,757	27.6	107.3
7月末	3,158	△ 68.4	14,528	45.3	101.6
8月末	1,718	△ 82.8	17,611	76.1	108.1
9月末	1,793	△ 82.1	16,744	67.4	100.8
10月末	1,443	△ 85.6	16,414	64.1	105.1
11月末	1,256	△ 87.4	17,721	77.2	96.9
12月末	976	△ 90.2	19,569	95.7	98.2
2021年1月末	783	△ 92.2	19,934	99.3	99.7
2月末	700	△ 93.0	21,007	110.1	98.7
3月末	763	△ 92.4	20,073	100.7	92.8
(期末) 2021年4月21日	609	△ 93.9	21,324	113.2	98.2

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) 参考指数は、NYSE FANG+指数™(米ドルベース)をもとに、当ファンド設定日を10,000としてSBIアセットマネジメントが計算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2020年4月14日から2021年4月21日まで）

○基準価額等の推移



（注1）参考指数は、NYSE FANG+™指数（米ドルベース）です。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

当ファンドは、ユーロ円債に投資することにより、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+™指数（米ドルベース）の概ね3倍程度逆となることを目指して運用を行っております。

当期、新型コロナウイルス感染拡大による経済的打撃への対策として世界的に大規模な金融緩和や財政支援策がおこなわれたことや、期末に向けてワクチンが開発され接種が開始されたことがNYSE FANG+™指数の好材料となりました。また、コロナウイルス禍に高成長が期待されたグロース株が選好されたことなどから、NYSE FANG+™指数は2021年1月ごろまで、上昇基調となりました。このため、同時期、当ファンドの基準価額は下落基調が続き、基準価額の大きな上昇要因となったものではありませんでした。その後、2021年に入って、コロナワクチン接種拡大により経済活動が本格的に回復するとの期待から米長期金利が上ブレしたため、NYSE FANG+™指数の値動きは不安定となりました。2月から3月にかけて一時的な下落も見られ、その間基準価額の上昇も見られました。しかしながら、期末にかけて、景気の急回復に対し慎重な見方が強まったことから、米長期金利上昇が一服し、NYSE FANG+™指数は下支えられ、概ね横ばいの動きとなりました。

下落要因

新型コロナウイルス感染拡大による経済的打撃が懸念されましたが、世界的に大規模な経済対策が行われたことや、2020年末にかけてワクチン接種による新型コロナウイルス感染拡大の収束が期待されたことなどを背景に、NYSE FANG+™指数はおおむね上昇基調となりました。これが基準価額の下落要因となりました。

○投資環境

NYSE FANG+™指数は、当期直前の2020年2月から3月にかけて、中国武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染が世界規模で急拡大したことをきっかけに急落しました。その後、新型コロナウイルス感染抑制のためとられた行動制限措置による経済的打撃への対策として、世界的に大規模な金融緩和や財政的支援策がとられ株式市場は米国を中心に回復傾向となりました。さらに、コロナウイルス禍に在宅勤務、いわゆる巣ごもり需要が拡大したこと、景気後退と金利低下を背景にバリュー株に対して高成長が期待されたグロース株が選好されたことなどから、NYSE FANG+™指数は2021年1月ごろまで、上昇基調となりました。2021年に入って、コロナワクチン接種拡大により集団免疫が達成され経済活動が急回復するとの期待から米長期金利が上ブレしたため、NYSE FANG+™指数の値動きは不安定となりました。2月頃から景気の急回復期待が強まり、グロース株のバリュエーション決定要素として重要な米長期金利が米10年債利回りで2%を目指す動きを見せると、NYSE FANG+™指数も下落し、当ファンドの基準価額上昇が見られました。しかしながら、金融緩和の継続をFRB（米連邦準備制度理事会）が示唆したこと、世界的に新型コロナウイルスの再感染拡大が見られたことなどから、景気の急回復に対し慎重な見方が強まりました。このような状況下、米長期金利上昇が一服し、NYSE FANG+™指数は下支えられ、概ね横ばいの動きとなりました。

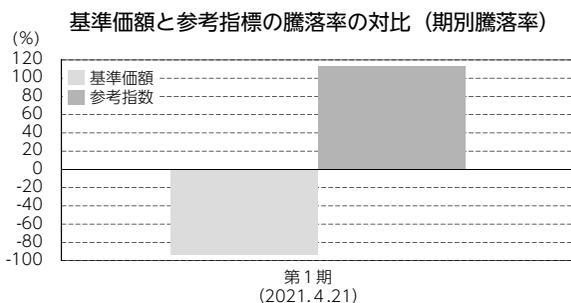
○当ファンドのポートフォリオ

特定のユーロ円債（米国次世代テクノロジー関連銘柄・インバース型3倍レバレッジ連動債）を主要投資対象とし、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+™指数（米ドルベース）の値動きのおおむね3倍程度逆となる投資成果をめざして運用を行いました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 参考指数はNYSE FANG+™指数（米ドルベース）を使用しています。

○分配金

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2020年4月14日～ 2021年4月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、ユーロ円債に投資することにより、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+™指数(米ドルベース)のおおむね3倍程度逆となることを目指して運用を行ってまいります。

将来の市場環境の変動により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2020年4月14日～2021年4月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	26 (14) (11) (1)	0.933 (0.506) (0.393) (0.034)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷) (そ の 他)	62 (20) (23) (18) (0)	2.197 (0.722) (0.821) (0.654) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	88	3.130	
期中の平均基準価額は、2,807円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

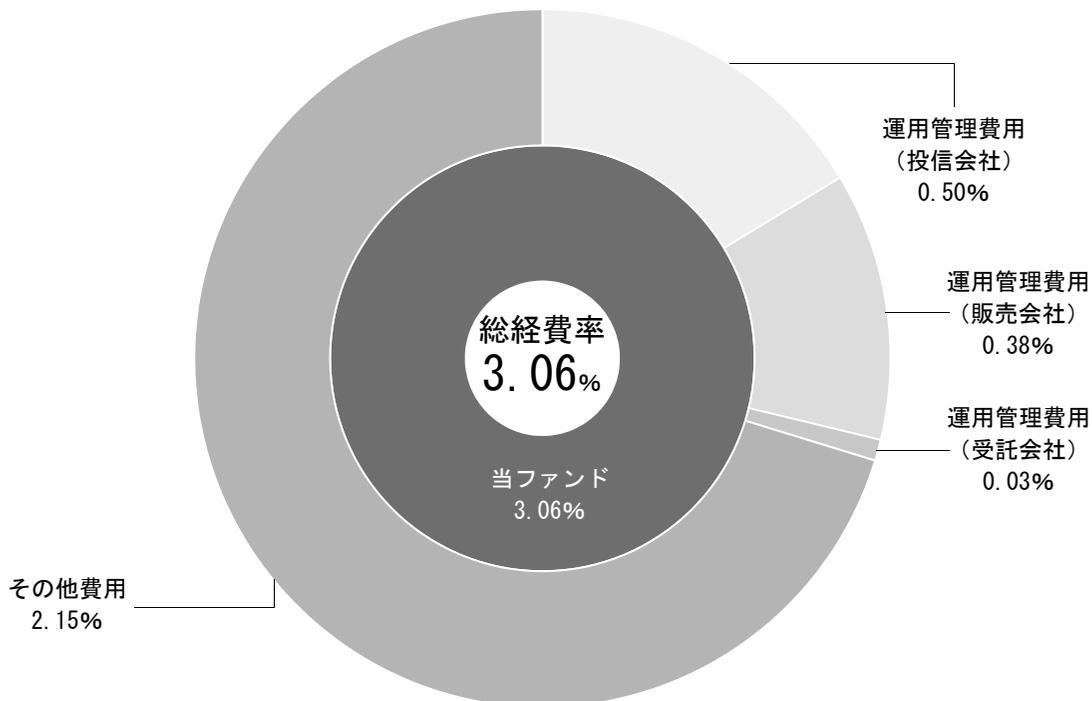
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は3.06%**です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年4月14日～2021年4月21日)

公社債

		買付額	売付額
国	社債券（投資法人債券を含む）	千円 408,892	千円 140,920

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

(注2) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年4月14日～2021年4月21日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年4月21日現在)

国内（邦貨建）公社債

(A) 債券種類別開示

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券 (含む投資法人債券)	1,905,000 (1,905,000)	121,148 (121,148)	98.2 (98.2)	— (—)	— (—)	98.2 (98.2)	— (—)
合 計	1,905,000 (1,905,000)	121,148 (121,148)	98.2 (98.2)	— (—)	— (—)	98.2 (98.2)	— (—)

(注1) () 内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) —印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

区 分	当 期			末	
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)	米国次世代テクノロジー関連銘柄・インバース型3倍レバレッジ債	% 0	千円 1,905,000	千円 121,148	2023/5/10
合 計			1,905,000	121,148	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年4月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 121,148	% 96.3
コール・ローン等、その他	4,599	3.7
投資信託財産総額	125,747	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年4月21日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	125,747,246円
コール・ローン等	4,598,771
公 社 債 (評価額)	121,148,475
(B) 負 債	2,417,451
未 払 解 約 金	490,191
未 払 信 託 報 酬	522,383
未 払 利 息	12
そ の 他 未 払 費 用	1,404,865
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	123,329,795
元 本	2,026,582,128
次 期 繰 越 損 益 金	△1,903,252,333
(D) 受 益 権 総 口 数	2,026,582,128口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	609円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	1,000,000円
期中追加設定元本額	5,070,675,625円
期中一部解約元本額	3,045,093,497円
(注) 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,903,252,333円です。	

○損益の状況 (2020年4月14日～2021年4月21日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 2,682円
支 払 利 息	△ 2,682
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 42,116,530
売 買 益	29,495,063
売 買 損	△ 71,611,593
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,755,446
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 46,874,658
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,856,377,675
(配 当 等 相 当 額)	(△ 107,262)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,856,270,413)
(F) 計 (D + E)	△1,903,252,333
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△1,903,252,333
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,856,377,675
(配 当 等 相 当 額)	(△ 107,262)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,856,270,413)
繰 越 損 益 金	△ 46,874,658

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円) より分配対象収益は0円 (10,000口当たり0円) のため、当期に分配した金額はありません。

○お知らせ

該当事項はありません。

● NYSE® FANG+™ 指数について

参照元であるICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)は、許諾を得て使用しているものです。「NYSE® FANG+™ 指数」は、ICEデータまたはその関連会社のサービスマーク/商標であり、SBIアセットマネジメント株式会社はNYSE® FANG+™ 指数(「本指数」)とともにSBI米国株(NYSE FANG+)トリプル・ベア(以下「本ファンド」)に関連して使用することを許諾されています。SBIアセットマネジメント株式会社は、ICEデータ、その関連会社または第三者サプライヤ(以下「ICE データ及びそのサプライヤ」)から後援(支援)、承認、販売または販売促進のいずれも受けていません。ICEデータ及びそのサプライヤは、一般的には証券への投資の推奨、具体的には本ファンドへの投資の推奨について、また一般的な株式市場の値動きに追随するにあたっての本指数の信頼性もしくは能力についていかなる表明または保証も行いません。ICEデータとSBIアセットマネジメント株式会社との関係は、所定の商標及び番号ならびにそれらの本指数または構成銘柄の使用許諾に限定されます。本指数は、ICEデータがライセンスしまたは本ファンドもしくはその保有者を考慮することなく決定し、構成し、算出するものです。ICEデータは、本指数を決定、構成または算出する際に、ライセンスしまたは本ファンドもしくはその保有者のニーズを考慮する責任を負いません。ICEデータは、本ファンドの設定時期、価格もしくは数量の決定または本ファンドの価格、販売、購入もしくは償還の決定または算出について責任を負わず、それらに関与していません。特定のカスタム指数算出サービスを除き、ICEデータが提供する情報はすべて、一般的な性質のものであり、ライセンスしその他個人、法人または個人のグループのニーズに合わせたものではありません。ICEデータは、本ファンドの管理、マーケティングまたは取引に関連していかなる義務も責任も負いません。ICEデータは、投資アドバイザーではありません。指数に証券が含まれていても、ICEデータが当該証券の購入、販売、保有を推奨するものではなく、投資アドバイザーを意味するものでもありません。

ICEデータ及びそのサプライヤは、指数、指数データ及びそれらに含まれ、関連し、または由来するあらゆる情報(「指数データ」)を含め、市場性または特定の目的もしくは使用への適合性の保証を含むあらゆる保証及び表明(明示的か黙示的かを問いません)を否認します。ICEデータ及びそのサプライヤは、「現状有姿」で提供される指数及び指数データの適切性、正確性、適時性または完全性に関して、いかなる損害賠償金または賠償責任の対象にもなりません。お客様は、指数及び指数データをお客様ご自身のリスクで使用するものとします。

Source ICE Data Indices, LLC ("ICE Data"), is used with permission. "NYSE® FANG+™ Index" is a service/trade mark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and has been licensed, along with the NYSE® FANG+™ Index ("Index") for use by SBI Asset Management Co., Ltd. in connection with SBI US Equity Fund (NYSE FANG+) Triple Bear (the "Product"). Neither the SBI Asset Management Co., Ltd., as applicable, is sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data Indices, LLC, its affiliates or its Third Party Suppliers ("ICE Data and its Suppliers"). ICE Data and its Suppliers make no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Product particularly, the Trust or the ability of the Index to track general stock market performance. ICE Data's only relationship to SBI Asset Management Co., Ltd. is the licensing of certain trademarks and trade names and the Index or components thereof. The Index is determined, composed and calculated by ICE Data without regard to the LICENSEE or the Product or its holders. ICE Data has no obligation to take the needs of the Licensee or the holders of the Product into consideration in determining, composing or calculating the Index. ICE Data is not responsible for and has not participated in the determination of the timing of, prices of, or quantities of the Product to be issued or in the determination or calculation of the equation by which the Product is to be priced, sold, purchased, or redeemed. Except for certain custom index calculation services, all information provided by ICE Data is general in nature and not tailored to the needs of LICENSEE or any other person, entity or group of persons. ICE Data has no obligation or liability in connection with the administration, marketing, or trading of the Product. ICE Data is not an investment advisor. Inclusion of a security within an index is not a recommendation by ICE Data to buy, sell, or hold such security, nor is it considered to be investment advice.

ICE DATA AND ITS SUPPLIERS DISCLAIM ANY AND ALL WARRANTIES AND REPRESENTATIONS, EXPRESS AND/OR IMPLIED, INCLUDING ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, INCLUDING THE INDICES, INDEX DATA AND ANY INFORMATION INCLUDED IN, RELATED TO, OR DERIVED THEREFROM ("INDEX DATA"). ICE DATA AND ITS SUPPLIERS SHALL NOT BE SUBJECT TO ANY DAMAGES OR LIABILITY WITH RESPECT TO THE ADEQUACY, ACCURACY, TIMELINESS OR COMPLETENESS OF THE INDICES AND THE INDEX DATA, WHICH ARE PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS AND YOUR USE IS AT YOUR OWN RISK.

The English version of the disclaimer will prevail.